



RI 会長：シェカール・メータ
2620 地区ガバナー：小林 聡一郎
会長：妻鹿 政光 幹事：齋藤 高子 会場監督：佐々木 雄二
例会：毎週金曜日 19:00 ~ 20:00
グランドホテル浜松 〒432-8507 浜松市中区東伊場 1-3-1 Tel : 053-450-3003 Fax : 053-450-3006
E-Mail : hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2022年6月10日（金） 晴 第1585回例会 週報 NO. 24

司 会：竹内公一 会場監督補佐
点 鐘：妻鹿 政光 会長
ロータリーソング「我らの生業」
四つのテスト 久米崇也 会員

ゲスト

浜松市市議会議員
関 イチロー 様

会長挨拶



6月4日浜松中ロータリークラブ 35 周年記念例会、本当に素晴らしい形で終わりました。実行委員長の渥美さん始め、副実行委員長、各部長、皆さんの力を合わせて手作りの式典ができたのではないかと思います。

その後、何人かの方から「新聞の見たよ」と声をかけて頂きました。鈴木晴夫さんからは新聞の抜き出しの写真だけを送って頂きました。これは一生の記念になります。これによってロータリーの活動を世間の人に知って頂くこともできました。会員皆様の企業も多く活用しました。どうもありがとうございました。

今日はかつて中 RC の仲間だった関さんの卓話です。

今年度も残りわずか。中途半端感もありましたが、35 周年で充実した終わり方ができます。これからますます明るいクラブでありたいと思います。

幹事報告



配布資料 ロータリーの友
ガバナー月信

- ・請求書（4 月以降清算のある方）
- ・今年度の出欠状況確認
- ・来年のメルボルン大会に興味のある方は Web でご確認ください。
- ・花のリレープロジェクトの新聞広告を回覧します。
- ・次週は理事役員退任挨拶です。

委員会報告

☆渥美聡一郎 35 周年実行委員長



多数のご参加と多大なるご協力のおかげで、この時代に合わせた良い会が開けたのではないかと思います。まだ決算や京都さんへ記念品を送るなどの仕事は残っています。

ダイジェストのムービーや記念撮影の写真も改めてご紹介したいと思います。また、新しい奉仕活動の取り組みをしました。次年度以降も継続して、例会などでも企画をしていきたいと思っています。

米山奨学金贈呈

☆グエン カオ キさん



会員誕生日お祝い

佐々木雄二さん	4 日
中村 将義さん	5 日
原 英登さん	5 日
山城 一哲さん	6 日



スマイル

♪妻鹿政光さん、齋藤高子さん

35 周年の記念例会には、京都からも多くの方にご臨席いただき、「奉仕」と「親睦」という二本柱を実現できる心温まる素晴らしい事業ができました。ひとえに皆様方のご協力の賜物と深く感謝いたします。

本日は元会員で市議会議員の関イチロー様に浜松市区割りの話をさせていただきます。宜しくお願いします。

♪中山和彦さん

35 周年、渥美聡一郎実行委員長のもと、若手の担当委員の皆様の

おかげで、ゴルフ・観光・前夜祭と楽しくできましたことを感謝します。お疲れ様でした。私も副実行委員でしたが、何もせず飲んで食べて過ごさせていただきました。ありがとうございました。



♪関イチロー様

久しぶりに卓話をさせていただきます。よろしくお願いします。



卓話

「浜松市の区割りについて」

ゲスト紹介：

中村智次 クラブ戦略委員長



関さんは元会員です。いろいろ活躍されましたが、市議会議員に当選されて退会されました。すったもんだのあった市の行政区の再編問題について行政区の特別委員である関さんにお話を伺います。



去年の8月に声をかけていただきましたが、コロナで卓話ができなくなり、ようやく今日お約束を果たすことができます。

時期としては今のほうが良いかもしれません。去年の8月はまだ方向性も決まってませんでした。ご承知のように、浜松は3区になることに決まりました。

平成14年から、浜松市やその周りの12市町村で政令指定都市構想の話し合いが行われてきました。平成17年、新しい浜松市が誕生し、その2年後に政令市になりました。これほど大きな合併(数・面積)は稀なことで、面積は地方自治体の中で2番目、道路の総延長は2位の横浜を大きく離して1位です。

現在、政令市は20市あります。最初にできたのは5大都市(大阪、名古屋、横浜、京都、神戸)です。人口的にも随分違いがあります。

合併・政令市の移行から現在までいろいろな社会環境の変化がありました。行政サービスの維持・向上が難しくなり、また特例措置がなくなることもあり、10年経って検証を行いました。

ところで、皆さんの納める税金の6割は国税です。でも実際に使うのは国は3割、地方が7割です。その差額は地方交付税などです。しかしその配分を待たなくとも最初から自治体が自主的に執行できるよう、税の配分を考えることが必要ではないかと思います。

話を戻しますが、区の再編の意義や目的は、人口の減少、少子高齢化の進行、インフラ費用や社会保障の費用の増大、第4次産業革命の進展に対応するためです。

3年半まえに住民投票を行いました。これは微妙な設問のしかたでした。先に区の再編について賛否を問い、賛成なら3つの区に分けるのはどうかと聞くべきですが、最初に3区案に賛成かどうかと聞き、反対の場合のみ設問2に進めるようにしたのです。これによって無効票が1割以上出て、最終的にも混乱しました。

令和2年9月特別委員会で再編が必要かどうかの投票をして、再編することが決まりました。去年12月、区割り案が内定しました。最初13案ありましたが6案に絞りました。そして、最終的にはこの3区案、天竜区、北区と西区、それ以外、にしました。そうした

ところ、北区から「うちに区役所が欲しい」という要望がきました。北区と西区では人口の多いので西区に区役所ができるのです。そこで、縦に区切っていたのを横に区切ることになりました。5月に3区案が決定しました。

12月からは3区になった場合にそれぞれが機能するのかという検証をしました。例えば暫定A区は中、東、南、西の4つの区で、区役所は人口の多い中区になります。中区以外は、今までの区役所が行政センターという名称になります。今まで7人いた区長が3人になり、ほかの役職も減るので財政的な効果はありますが、行政センターで果たして今まで通りのサービスができるかという検証です。浜北区と北区のB区でも問題があり、浜北に区長、北区に副区長を置くという対応になります。副市長の役割や配置、土木事務所や保健センター、災害対策本部などもそれぞれ適した形に変わります。

今後、行政区画等審議会へ諮問をして、来年2月に区設置等条例を可決することになります。もし、A区ができると、人口が58万人で政令市の区の中では一番大きくなります。かたやC区となる天竜区は2万6千人、一番少ない人口です。

区の名前は皆さん方から募集をします。なかなか簡単に決めることは難しいようですが、場合によっては今までにない名前になるかもしれませんので、皆さんにはご注目頂けたらと思います。

出席報告

内田 努 出席委員

会員数	45名
出席者数	26名
出席算定会員数	37名
出席率	70.27%

前々回出席者数	26名
修正出席率	72.97%